

# ISHIDANI COMMUNITY PLAN

石谷校区まちづくり計画

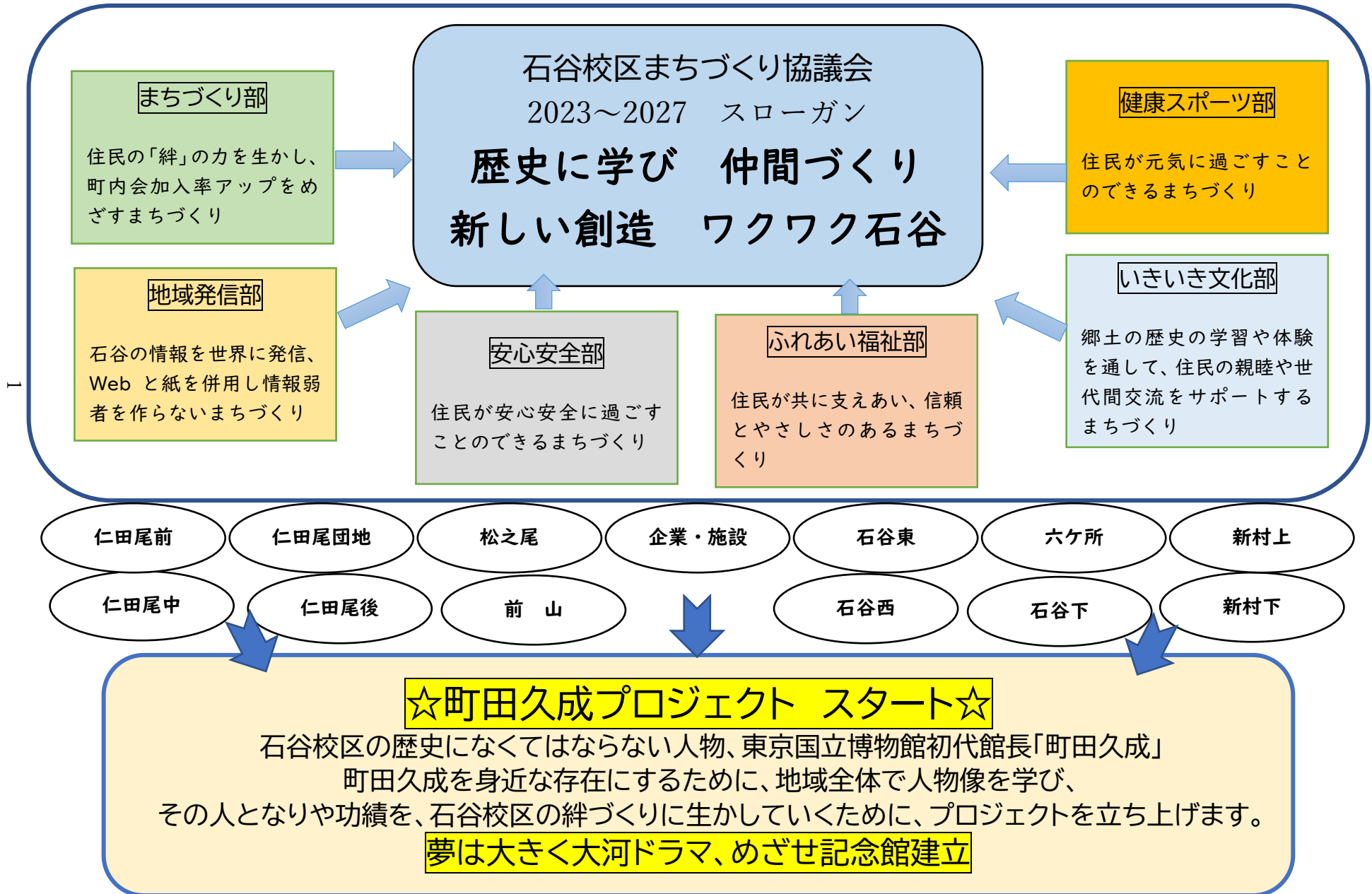
Vol.2(2023～2027)

石谷校区まちづくり協議会

## M E N U

- P1～ 第二期 石谷校区まちづくり計画 概要
- P2～ I 第一期 石谷校区まちづくり計画をふりかえって
  - (1) 第一期 各専門部の5年間の総括
- P4～ II 第二期 石谷校区まちづくり計画について
  - (1) 第二期スローガンについて
  - (2) 石谷校区の現状
  - (3) 専門部の再編成について
  - (4) 各専門部が考える石谷校区の現状と課題について
  - (5) 各専門部が考える2023年～2027年の活動について
  
- P14 資料 行ってみよう！校区内 文化財・史跡等マップ

## 第二期 石谷校区まちづくり計画(2023~2027) 概要



## I 第一期 石谷校区まちづくり計画をふりかえって

石谷校区まちづくり協議会は、2017年4月22日に各自治公民館、校区内各種団体等が協力し、石谷校区が住民の交流・つながりを大切にする地域になるようにと設立されました。

2017年度に、2018年度から2022年度5年間の「石谷校区まちづくり計画 Vol.1」を作成しました。「住民総参加 活気あふれ 心ふれあう わがまち石谷」のスローガンのもと、地域の皆さんと共に石谷校区を盛り上げていくことや、石谷校区の未来を考えるきっかけになることを考えながら、5年間の活動を進めました。

しかし、活動が波に乗った2020年1月、「新型コロナウイルス感染症」の流行開始により、様々な活動を縮小せざるを得なくなりました。少し落ち着いては再燃する感染症に振り回されながらも、今できることは何なのか、地域のつながりが希薄にならないように何かできないかと、様々な挑戦をしながら活動を続けてきました。しかし直前に中止を余儀なくされた行事もありました。

第一期の活動は、満足な結果とは言えなかったかもしれませんが、そんな中でも活動が続けることができたのも、地域の皆様のご協力あってのことです。

2022年度は当初より、第一期の総括をしながら1年間の活動を進めてきました。

### (1)第一期 各専門部の5年間の総括

#### ① まちづくり部

まちづくり部は、地域のつながりを作る「町内会」の加入促進を中心に活動を行いました。

	2018年3月	2022年12月	
町内会加入世帯数	935世帯	1012世帯	77世帯増

表のように、この5年間で町内会加入世帯数は増加しました。

広報活動については、石谷プレスの定期発行も定着し、2022年度にはホームページも開設しました。

#### ② 安心安全部

安心安全部は、「地域の安心安全を守るには？」を問

いながら活動しました。2019年度には念願の青色防犯パトロール隊「石谷ぷらすパトロール隊」を結成することができ、2022年度には隊員10人、パトロール車10台となりました。



#### ③ 福祉部

福祉部は、地域内の福祉施設も参加している専門部です。毎年各施設の見学会や情報交換を中心に活動し、福祉講座の開催も続けました。



④ 青少年育成部

青少年育成部は、あいご会、あいご子ども会、時には成人学級等と協力しながら、妙円寺ウォーク等で異年齢交流を実施しました。しかしコロナ感染症のため、ふれあい行事のひとつとして1年おきに開催していた餅つきは、2019年12月の実施以降開催できませんでした。また小学校周辺の住宅状況の変化により、2022年1月の開催を最後に、鬼火たき行事のとりやめを決断しました。



⑤ 社会教育部

社会教育部は、校区一大行事である文化祭を担っていました。2019年に文化祭を「ふれあいフェスタ in 石谷」にモデルチェンジし大成功しましたが、残念ながらコロナ感染症のためその後2年間開催を見合わせ、2022年度にやっと開催できました。

校区成人学級は毎年順調に開講できています。

⑥ 体育部

体育部は、これまで運動会を中心に企画開催してきましたが、住民のニーズに合わせ、継続的な体力づくりのために「誰でも使える体育館」を定期的で開催し好評を得ています。また、ニュースポーツの大会「スポレクフェスタ」を新たに開催し、子どもから大人まで多くの参加で盛り上がりました。



## Ⅱ 第二期 石谷校区まちづくり計画について

### (1) 第二期スローガンについて

松元地域は、2004年（平成16年）11月の鹿児島市との市町村合併後、旧五町の中では唯一人口が増えている地域です。

第二期は「地域の皆さんと協議会のつながり」や「地域の皆さん同士のつながり」を作っていくために、石谷の歴史になくてはならない人物、東京国立博物館初代館長「町田久成」の生き方や功績をまちづくりに生かせないかと考え、このスローガンにたどり着きました。

※※ 2023年度～2027年度スローガン ※※

歴史に学び 仲間づくり 新しい創造 ワクワク石谷

【町田久成「を」学ぶ】 ではなく 【町田久成「で」学ぶ】

### (2) 石谷校区の現状

松元地域は、2004年（平成16年）11月の鹿児島市との市町村合併後、旧五町の中では唯一人口が増えている地域です。

石谷校区の人口・世帯数・年齢構成の変化は

	2004年 (平成16年)11月 市町村合併時	2018年 (平成30年)1月	2023年 (令和5年)1月
人口	3933人	4540人	5115人
増加率(対2004年)	-	115%	130%
世帯数	1230世帯	1825世帯	2041世帯
増加率(対2004年)	-	148%	166%
年齢構成比 20歳以下/65歳以上	21% / 16.9%	25% / 22%	27% / 23%

合併時と比較すると、人口は1.3倍、世帯数は1.66倍、若い人の割合も増えています。

自治公民館・自治会(町内会)加入率は

	2012年度 (平成24年)	2018年度 (平成30年)	2022年度 (令和4年)
加入率	60%	53%	56%

であり、第一期まちづくり計画の策定時(2018年度)よりは増えてはいますが、人口増に町内会加入率が追い付いていないことは否めません。

### (3) 専門部の再編成について

これまでの5年間の活動、そしてこれから5年間の活動を考えていく上で、校区の実情に合わせた専門部の再編を行います。活動内容が分かり親しみやすく感じてもらえる名称を考えました。

2022年度までの名称	再編後の活動内容	2023年度からの名称
まちづくり部	町内会加入促進	まちづくり部
	情報収集・広報	地域発信部
安心安全部	安心安全・防犯	安心安全部
福祉部	福祉・ふれあい	ふれあい福祉部
青少年育成部	全世代対象の 文化教育	いきいき文化部
社会教育部		
体育部	スポーツ・健康	健康スポーツ部

#### (4)各専門部が考える石谷校区の現状と課題について

##### ①まちづくり部

	現状	課題
まちづくり部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会加入率は依然として低い。</li> <li>・ 価値観の多様化により、地域での一体感を感じにくくなっている。</li> <li>・ 校区内の史跡等に行ったことがない人や知らない人が多く、地域の伝統や文化などへの興味・関心度が不足している。</li> <li>・ 自治会の規模に格差があり、運営や組織面で自治会の機能を果たせないところもある。</li> <li>・ 便利で快適なまち、暮らしやすいまちを多くの人が望んでいる。</li> <li>・ 人口は増えているが、町内会への加入が少なく、地域活動の担い手が不足している。</li> <li>・ 大きな災害はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会加入率の向上につながる取り組みが必要である。</li> <li>・ 地域住民がみんなで楽しみ、交流できる場づくり(公園の拡充)の検討や要望等を関係機関に依頼していく。</li> <li>・ 歴史的史跡等が数多くある石谷の魅力をもっと知ってもらい、郷土への愛着を高める取り組みが必要である。</li> <li>・ 自治会機能が低下してきている自治会を支援する方策の検討と町内会機能の有用性を伝えていく。</li> </ul>
	<b>重点課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つながりの希薄化を食い止めるためには何をすればよいか。</li> <li>・ 町内会加入につなげる情報発信が必要である。</li> <li>・ 各町内会の活動を盛り上げるために何ができるか。</li> <li>・ 地域の歴史を知ることから、石谷の未来を考えよう。</li> </ul>	

##### ②地域発信部

	現状	課題
地域発信部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月 1~2 回、石谷プレスを発行している。</li> <li>・ ホームページを開設して、運営を始めた。</li> <li>・ 様々な行事の記録を残している(写真・動画など)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ運営管理方法を構築する必要がある。</li> <li>・ 協議会事業支援につなげるために稼ぐホームページを目指し、バナー広告の募集をしていく。</li> <li>・ 未加入世帯にホームページの存在を知らせる方法を考える必要がある。</li> <li>・ 未加入世帯にホームページを見てもらうことで、行事に参加したい→「町内会に入りたい」につなげることができるか。</li> <li>・ WEB から情報をとれない人への対応策を考える必要がある。</li> </ul>
	<b>重点課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの存在のアピールをするためには何をすればよいか。</li> <li>・ 各事業の記録の生かし方を考える。</li> <li>・ WEB だけでなく紙媒体の継続も必要である。</li> </ul>	



③安心安全部

	現状	課題
安心安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災に関する行事の開催が望まれている。</li> <li>・ 新築住宅や宅地分譲等で、住宅が密集している区域が増え、沿線道路等の幅員が狭く、通行等に危険性のある部分がある。</li> <li>・ 住宅建設が進むことで、それに関連した用水路や排水溝に改修等が必要な部分がある。</li> <li>・ 大型商業施設が増設されたことにより、地域の環境が大きく変化してきている。</li> <li>・ 大きな災害はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の危険箇所等の点検活動を通して、自然災害等の被害防止に努める活動が必要である。</li> <li>・ 子どもたちを交通事故や不審者から守るための活動を推進しなくてはならない。</li> <li>・ 自然災害を想定した自治会ごとの防災訓練を実施するなどして住民の防災意識を高める必要がある。</li> <li>・ 防犯パトロールや青パト隊の活動の更なる活動の充実が必要である。</li> <li>・ 児童生徒の登下校時の通学指導員等の増員が必要である。</li> </ul>
	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見守り活動の充実と継続を考えていかななくてはならない。</li> <li>・ 災害時の対応について、訓練実施など再検討する必要がある。</li> <li>・ 危険箇所の発見と見回り、その周知が必要である。</li> </ul>	

④ふれあい福祉部

	現状	課題
ふれあい福祉部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉施設間、施設と住民の交流が少ない。</li> <li>・ 高齢者組織が少なくなっている。</li> <li>・ 災害時、施設と地域の高齢者をどうつなぐことができるか、などの連携が不足している。</li> <li>・ 家族に高齢者や障がい者がいる方が色々な悩みに対して気軽に相談する窓口が欲しいと思っている。</li> <li>・ 社会福祉協議会が精力的に各種活動をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時における高齢者、障がい者、子どもなどに避難誘導の支援が必要である。</li> <li>・ 高齢化社会に対応するため高齢者の介護に関する事業を推進する必要がある。</li> <li>・ 高齢者等同士や地域住民との交流を推進し、高齢者等の孤立感を防ぐ必要がある。</li> <li>・ 高齢者介護や障がい者支援について、その家族の人々が集い、いろいろな悩みを共有し、情報交換や気軽に相談できる窓口「ふれあいカフェ(仮称)」等の開催が必要である。</li> <li>・ 福祉施設間、福祉施設と住民との交流の場を作る必要がある。</li> </ul>
	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉施設同士のつながりの橋渡しをするにはどんなことができるか。</li> <li>・ 生活弱者の災害時の対応を、安心安全部と連携しながら考える。</li> <li>・ 社会福祉協議会と連携を深めていく。</li> </ul>	

⑤いきいき文化部

	現状	課題
いきいき文化部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区あいご会等との連携による、妙円寺ウォークの実施で、交流が推進されている。</li> <li>・ 行事がマンネリ化し参加者が少なくなっている。</li> <li>・ 住宅が密集してきたため、鬼火たきの行事は小学校を利用して継続することができなくなった。</li> <li>・ 新型コロナ感染予防の観点から、飲食を伴う行事の開催が困難となり、餅つきは実施できない。</li> <li>・ 住民(特に大人)に、公共施設・史跡・文化財等を知らない人が多い。</li> <li>・ 環境パトロールに関して、夕方にパトロールを実施しているが、遊びまわる子どもを見かない。パトロールの意義が変わってきているとの部員からの声が上がっている。</li> <li>・ 成人学級生の固定化と、内容のマンネリ化が否めない。</li> <li>・ 成人女性だけで学習する場がない。</li> <li>・ ふれあいフェスタは好評である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 餅つきなど、昔からの行事を子どもたちにつなぐ必要がある。</li> <li>・ 妙円寺ウォークは関心も高く、さらに工夫・改善し充実していくことが大切である。</li> <li>・ 多くの地域住民が子育てに高い関心を持っており、校区全体で子どもの健全育成に関わる活動を進めていくことが大切である。</li> <li>・ 大人と子どもが一緒に参加でき、健康・体力づくりと歴史探訪を兼ねたような交流活動が必要である。</li> <li>・ 地域生活文化講座の有効活用を図る。</li> <li>・ 生涯学習グループの結成を支援することで、ふれあいフェスタの舞台・展示発表につながる。</li> <li>・ 校区内の公共施設や史跡・文化財等を知ってもらうための活動を強化する必要がある。</li> <li>・ 成人学級の内容等の見直しが必要である。</li> </ul>
	<p><b>重点課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふれあいフェスタはアップデートしながら毎年開催する。</li> <li>・ 大人のための校区の歴史を学ぶ場を構築していく。</li> <li>・ 子どもの育成について大人が考える場を作る必要がある。</li> <li>・ あいご会との連携を深めていく。</li> <li>・ 成人学級の見直しを考える。</li> </ul>	



⑥健康スポーツ部

	現状	課題
健康スポーツ部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラウンドゴルフへの参加は多く、各自治公民館や団体等で行われている。</li> <li>・ 誰でも使える体育館事業は好評である。</li> <li>・ 健康づくりを目的にした教室や講座の開設がない。</li> <li>・ 世代別のスポーツ大会がない。</li> <li>・ 校区の社会体育についてしっかりと話し合ったことがない。</li> <li>・ 過去、開催した運動会は参加率も高く、関心の高さが伺えるが、近年、コロナ禍で開催出来なかったことや、各自治公民館でも賛否両論があり、高齢化などで選手選考にも苦慮されている現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会という形にとられない、様々なスポーツで世代間交流を図る必要がある</li> <li>・ スポーツや運動に自由に親しむことができる場や機会の確保をすることが大切である。</li> <li>・ スポーツ少年団指導者等、スポーツ関係団体との連携をとる必要がある。</li> <li>・ アンケートを取り、住民がどのような教室や講座を望んでいるのかを知り検討しなくてはならない。</li> </ul>
	<p>重点課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気軽に運動できる場を定期的で開催していく。</li> <li>・ 世代間交流ができるスポーツ大会、内容の見直しをし、実施する。</li> </ul>	



石谷校区まちづくり協議会だより 20211001

**石谷プレス** SHIDANI Ishidani town planning

**だれでも使える体育館**

ステイホームの運動不足解消に！  
体育館でからだを動かしませんか？

**6月20日（日）**  
**朝9時～11時**  
**石谷小学校体育館**  
（雨天時や感染症の状況悪化などの時は中止する場合があります）

運動不足解消のために、健康づくりのために、  
体育館をお借りしました。ご自由にお使いください。

★ 参加の方は、検温・マスク着用・消毒等の感染症対策にご協力ください。★  
★ 体調の悪い方の参加はご遠慮ください。★

卓球台、ネット、ボール等は学校からお借りします。  
卓球ラケット、バドミントンラケットは協議会で準備しています。  
他の用具はお持ちください。

※ この行事は、「大人向け」「ファミリー向け」です。  
子ども向けの参加は、できません（泣）」

※ この活動はレクリエーション保険には加入しません。

参加へ



(5)各専門部が考える 2023 年～2027 年の活動について

○は実施予定年度

① まちづくり部

**住民の「絆」の力を生かし、町内会加入率アップをめざすまちづくり**

事業名	内容	2023	2024	2025	2026	2027
ポスター・写真・標語等コンテスト	町内会の魅力を伝え、加入促進につながる、標語、ポスター、写真等のコンテストを実施する	○	○	○	○	○
町内会活動支援	町内会間の連携を持つことで、加入促進の課題や支所に対する要望などについての情報を共有し、解決を支援する	○	○	○	○	○
史跡等の保護活動	熊野神社や石坂、学校跡地等の美化活動を行う	○	○	○	○	○
表彰事業	10周年にあたり、地域活動への貢献者・支援者(個人・団体)等を表彰する				○	○

② 地域発信部

**石谷の情報を世界に発信、Web と紙を併用し、  
情報弱者を作らないまちづくり**

事業名	内容	2023	2024	2025	2026	2027
石谷プレス発行	行事告知等を紙ベースで発信する	○	○	○	○	○
ホームページ等 運営管理	石谷プレスのweb版にとどまらず、地域内企業のバナー広告募集掲載、地域内の団体の活動状況等も取り上げて掲載する 町田久成に特化したページや地域の魅力発信のYouTubeチャンネルも運営する	○	○	○	○	○
PR活動	石谷プラスのロゴを使った、ワッペン・名刺等を作成する	○	○	○	○	○

## ③ 安心安全部

## 住民が安心安全に過ごすことのできるまちづくり

事業名	内容	2023	2024	2025	2026	2027
危険箇所点検 環境診断	危険箇所の定期的な点検及び町内会長と連携を取り、災害や事故の発生を未然に防ぐ	○	○	○	○	○
防犯パトロール 登下校見守り	安心安全な地域を目指し、防犯活動(青パト隊)を通して、地域見守り活動を実施する	○	○	○	○	○
AED・防災等講習会	救命や防災に関する情報の提供や講習会を行う	○	○	○	○	○
各町内会の 防災力強化	自主防災組織の育成強化を図り、補助金の有効活用方法や防災訓練、講習会等の実施を手助けする	○	○	○	○	○

## ④ ふれあい福祉部

## 住民が共に支えあい、信頼とやさしさのあるまちづくり

事業名	内容	2023	2024	2025	2026	2027
福祉施設訪問	福祉施設の訪問見学を行い、情報交換の場を設ける		○		○	
ふれあい健康まつり	多くの施設が存在する石谷の強みを生かし、高齢化社会に対応するため、福祉に特化したフェスタを実施する	○		○		○
ふれあいカフェ	実際家族の介護等をしている人が集い、いろいろな悩みを共有し情報交換等を行う		○		○	
施設行事への参加	福祉施設で開催される行事に参加する	○	○	○	○	○

⑤ いきいき文化部

郷土の歴史の学習や体験を通して、  
地域住民の親睦や世代間交流をサポートするまちづくり

事業名	内容	2023	2024	2025	2026	2027
ふれあいフェスタ in 石谷	校区内一大イベントを目指す 校区内の団体や個人が学んだ成果を発表する場も盛り込みつつ、誰もが楽しめるイベントとなるように工夫し実施する	○	○	○	○	○
青少年育成大会	あいご活動、子ども会活動の発表や講師を招いての講演などを通して、将来を担う青少年の育成について学ぶ		○		○	
歴史ウォーキング	地域の史跡を巡りながら、異世代交流、親睦、体力作りも兼ねた体験の場とする	○	○	○	○	○
ふれあい体験	講師を招いて物作りや遊びなどの体験を楽しみながら、異年齢層の親睦の場とする	○	○	○	○	○
成人学級	学級生のニーズに応じて多様な講座を実施し親睦を図る	○	○	○	○	○
地域生活文化講座	松元公民館と連携し、実践的講座を実施する	○	○	○	○	○





## ⑥健康スポーツ部

### 住民が元気に過ごすことのできるまちづくり

事業名	内容	2023	2024	2025	2026	2027
石谷 スポーツフェスタ	誰でも参加でき、ふれあい交流も兼ねたスポーツイベントを実施する	○	○	○	○	○
ふれあいスポーツ 大会	世代間交流と健康づくりを目的としたスポーツ大会を実施する		○	○	○	○
誰でも使える体育館	年間通して誰でもスポーツ等を楽しめるよう、体育館を開放する	○	○	○	○	○
歴史ウォーキング 支援	子どもから大人まで、自然に触れながら楽しく歩く活動を支援する	○	○	○	○	○

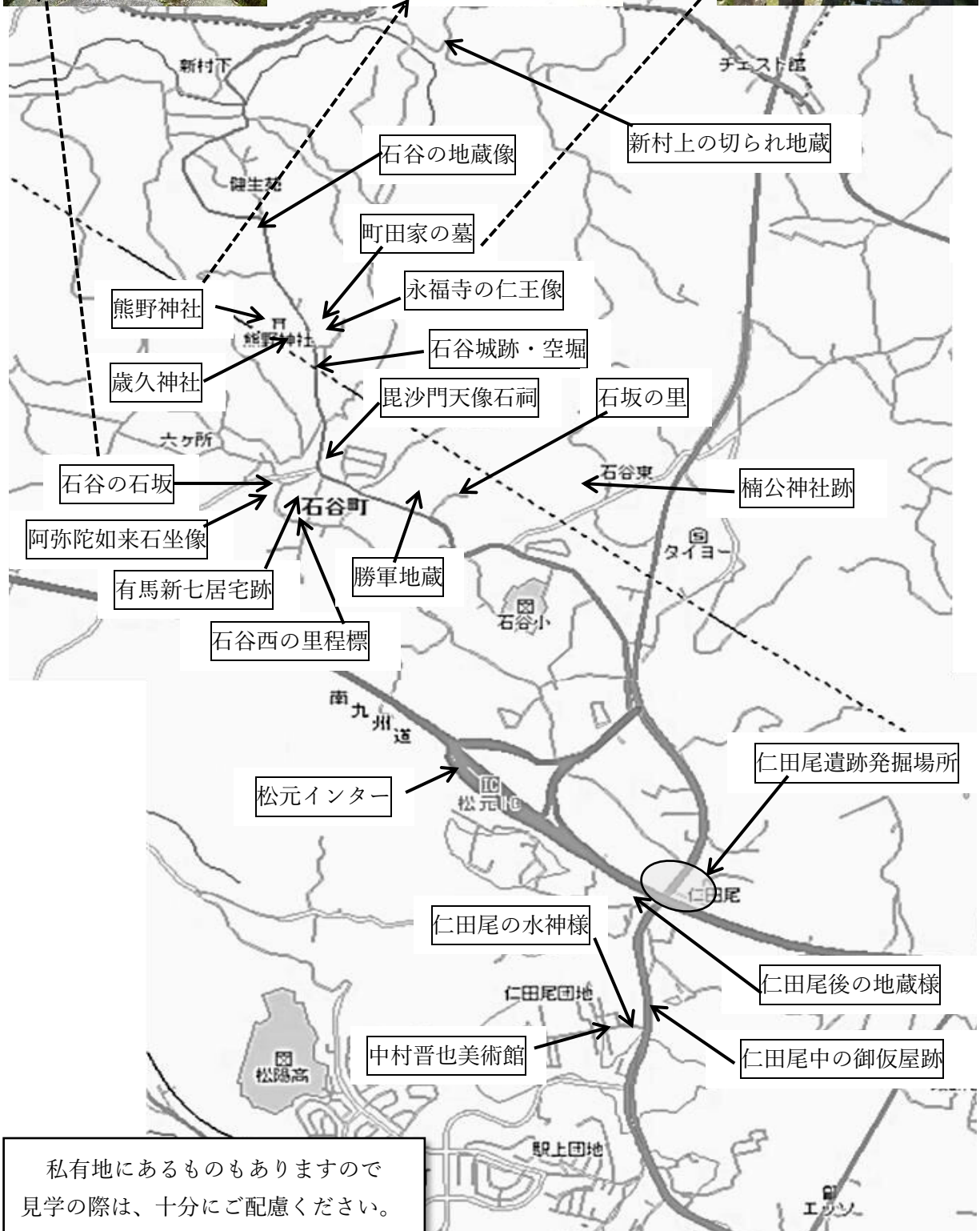
石谷夢プロジェクト 始動！

夢は大きく大河ドラマ

めざせ、記念館建立



資料 行ってみよう！校区内 文化財・史跡等マップ



私有地にあるものもありますので  
見学の際は、十分にご配慮ください。



第二期石谷校区まちづくり計画は、2023年4月22日開催の定期総会にて承認されました。

第二期 石谷校区まちづくり計画 策定委員(五十音順)

木之下俊朗 久木崎多津子 久木崎真人 桑畑慎一 是枝裕子 新開美史  
須納瀬恵美子 早田政男 野田千佐子 藤川和博 益満正信 松元みどり  
南善文 盛園尚記 森田悟